

ドッジボール



ねん くみ ()

やすみじかんに になりました。ヒナタは クラスの とも
だちと うんどうじょうで ドッジボールを やりました。

ドッジボールは、おおもりあがり。

たのしんでいると、チャイムがなって、やすみじかんがお
しまいになりました。

みんな、うんどうじょうから きょうしつに むかって
かけだしました。すると、ちからの つよい リョウが、ヒ
ナタに むかって ボールを なげつけてきました。

リョウの なげた ボールは はやくて、ヒナタは よけ
ることが できませんでした。

バシーン。ヒナタの せなかに ボールが あたりました。
ボールは とおくへと ころがって いました。リョウは、
おおきなこえで いいました。

「さいごに さわったのは、ヒナタだからな。ヒナタが ボー
ルを とってこいよ。ルールなんだからな！」

たしかに、クラスの ルールでは、「さいごに ボールに
さわった ひとが もとの ばしょに もどす」と きまっ
ています。

でも、さっきのは、さわったというよりも あてられたの



です。

「えっ、でも——。」

そう いている

あいだに、リョウは きょうしつへ もどってしまいました。
ボールは とおくまで ころがって行ってしまいました。

ヒナタは、ボールを とりに行くべきでしょうか。あなたのかんがえと りゆうを かきましよう。

<p>.....</p> <p>.....</p>

はなしあって かんがえたことを かきましよう。

<p>.....</p> <p>.....</p>
